

物品入札仕様書

品名	品質・規格		数量
外科用X線テレビシステム	シーメンス 手術用Cアームイメージングシステム ciosFit		1式
<p>条件等 ※ 別紙仕様書もご確認ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基準品以外で応札する場合は、事前に下記発注担当者に製品仕様が詳細にわかるカタログ等を提示し、書面で承認を得てから、見積書提出前までに契約課へ書面をご提出ください。連絡の無い場合は、「無効」となりますので、ご注意ください。 2. 入札書の規格欄には、メーカー名・品番等を必ず記入してください。 3. 落札後すみやかに、下記発注担当者に連絡をして下さい。 4. 納品の際は、必ず下記発注担当者と打ち合わせをしてください。 			
納入場所	宮崎市立田野病院	履行期限	令和8年2月28日
発注課担当者	保健医療課 : 担当者 日野 TEL : 29-4111		

外科用X線テレビシステム 一式 仕様書

I 調達物品構成内容及び数量

1. 外科用X線テレビシステム 一式

(構成内訳)

別添【外科用X線テレビシステム一式 仕様書】のとおり

II 調達物品が備えるべき技術的要件

別添【外科用X線テレビシステム一式 仕様書】のとおり

III その他の要件

①履行期限：令和8年2月28日

②搬入・据付・配線および調整

搬入・据付・配線および調整の方法については、落札業者の決定後、納品日が判明した時点で下記担当者へ連絡し、当該方法について調整すること。

なお、入札の際は、当該費用を含めた価格とすること。

<担当者情報>

担当者：宮崎市立田野病院 古川

場所：宮崎市田野町南原1丁目6番地2 宮崎市立田野病院

連絡先：0985-86-8300

外科用 X 線テレビシステム 一式

仕様書

宮崎市立田野病院

I 調達物品の概要

1. 調達物品及び構成内訳

調達物品名：外科用X線テレビシステム

調達物品は、下記の機器構成以上を備えていることとする。

- | | |
|-----------------------|----|
| 1) Cアーム装置本体 | 1式 |
| 2) X線高電圧発生装置 | 1式 |
| 3) X線管装置 | 1式 |
| 4) イメージインテンシファイアー | 1式 |
| 5) TVシステム | 1式 |
| 6) デジタル画像処理装置及びモニター架台 | 1式 |

2. 調達物品に備えるべき技術的要件の概要

- (1) 本件調達物品に関わる性能、機能及び技術等の要求要件（以下「要求要件」という。）は、「II 調達物品に備えるべき技術的要件」に示すとおりである。
- (2) 要求要件は、すべて必須かつ最低限の要求要件である。

3. 基準品

[メーカー：シーメンス]

・手術用Cアームイメージングシステム cios Fit

4. 納入期限

調達物品は、令和8年2月28日までに搬入、据付、配線、調整及び漏洩線量測定を完了させるものとする。

5. 設置場所

調達物品は、宮崎市田野病院手術室に設置する。

6. その他

- (1) 入札機器は、新品であること。
- (2) 入札機器のうち、医療用具に関しては、入札時点で薬事法に定められている製造の承認を得ている物品であること。
- (3) 本調達物品の搬入、据付、配線、調整、既存装置の撤去及び既存の機器との接続（DICOM接続等）に係る経費は供給者の負担により行うこと。
- (4) 法定の漏洩線量測定を導入時と導入から半年後の2回実施すること。
なお、測定にかかる経費は供給者の負担とする。

II 調達物品に備えるべき技術的要件

1. 機器の性能、機能に関する要件

- 1) Cアーム装置本体については、以下の要件を満たすこと。
 - 1 Cアームの内径は、73cm以上であること。
 - 2 X線管とイメージンシファイア間の距離は、78cm以上であること。
 - 3 Cアームの円弧スライド範囲は、130° 以上であること。
 - 4 Cアームの回転範囲は、380° 以上であること。
 - 5 Cアームの上下動範囲は、40cm以上であること。
 - 6 Cアームの前後動範囲は、20cm以上であること。
 - 7 Cアームのロック／リリースは、手動レバーロックであること。
 - 8 Cアームの首振り角度は、 $\pm 12.5^\circ$ 以上であること。
 - 9 Cアームの重量は、260kg以下であること。
 - 10 フットペダル及びハンドスイッチの曝射スイッチが装備されていること。

- 2) X線高電圧発生装置については、以下の要件を満たすこと。
 - 1 インバータ方式であること。
 - 2 連続透視時の最高管電流は、7.9mA以上であること。
 - 3 透視時の最高管電圧は、110kV以上であること。
 - 4 15fps以上のパルス透視ができること。
 - 5 パルス透視時の最高管電流は、16.8mA以上であること。
 - 6 DR(ワンショット)撮影ができること。
 - 7 X線出力は、2.5kW以上であること。
 - 8 定格電源は、100V/15Aであること。

- 3) イメージンシファイアーについては、以下の要件を満たすこと。
 - 1 入力面径は9インチ以上であること。
 - 2 3段階以上の拡大ができること。

- 4) X線管装置については、以下の要件を満たすこと。
 - 1 焦点サイズは、0.6mm以下であること。
 - 2 X線管蓄積熱容量は、1,300,000HU以上であること。
 - 3 陽極冷却効率は、51,000HU/分以上であること。
 - 4 X線コリメーターはアイリス型絞りを装備していること。
 - 5 ラストイメージホールドの画像からX線絞りの位置を設定できること。
 - 6 面積線量計を装備していること。

5) TVモニター及びモニター架台については、以下の要件を満たすこと。

- 1 TVモニターは、23.8インチ以上のタッチ式液晶モニタを有すること。
- 2 TVモニターの表示マトリクス数は、1920×1080以上であること。
- 3 TVモニター専用の架台を備えており、架台上でデジタル画像処理装置の操作ができること。
- 4 TVモニターの重量は、70kg以下であること。

6) デジタル画像処理装置については、以下の要件を満たすこと。

- 1 操作方法は、プッシュボタン、または液晶タッチパネルで操作可能であること。
- 2 画像の輝度やコントラストを自動的に最適化する機能を有していること。
- 3 ラストイメージホールド(最終静止画保存)機能を有すること。
- 4 RDSRによる被曝情報を出力できること。
- 5 画像記録容量は、50,000画像以上で保存できること。
- 6 外部保管メディアとして、画像データをUSBメモリに保存できること。
- 7 外部保管のフォーマットとして、DICOMとパソコンで閲覧できるファイルに変換できること。
- 8 DICOM send/storage機能を有すること。